

マルチェロ・ナポリ ボディーパーカッション ワークショップ

主催：日本ダイバーショナルセラピー協会

DTワークのスキルアップに！効果的なアクティビティ実践のために！

ボディーパーカッションセラピー へのお誘い

音楽を聴いていると、私たちは体を動かしたり、手拍子で歌ったり、足を踏み鳴らしたりしたくなりますね。そんな自然な衝動や楽しさを心身や脳の活性につなげていくというのが「ボディーパーカッションセラピー」です。それはまさに、からだをパーカッション楽器のように”たたく”という小さなアクションから始まります。このボディーパーカッションと「声」を組み合わせた”Speech Movement Sound(SMS)”の概念と手法を、神経生理学、児童心理学、言語聴覚等の専門家チームとの共同研究により確立したのがマルチェロ・ナポリ氏。イタリア生まれの音楽家です。この理論に基づいた療法によって、20年以上にわたり子どもたちの音楽教育に携わってきました。最近では、その成果を反映して、アルツハイマーなど認知症をともなう高齢者や障がい者にも療法的に実践されています。

今回のワークショップは、ニュージーランドDT協会の紹介によって実現したものです。多様なDTプログラムとして、効果的なレクリエーション、アクティビティのために、きっと新しいアイデアを拓くワークショップになることでしょう。

お誘い合わせてのご参加をお待ちしております。



マルチェロ・ナポリ氏プロフィール

カール・オルフの作品群であるオルフ・シュールベルクを研究したイタリアの音楽学士。これまでにフィレンツェ大学、ジェノバ大学などとの共同研究も行ってきた。カール・オルフが唱えたのは「音楽を通して自分や周りのことを知り、自分の生き方を見つけていくこと」。これを基本に、ナポリ氏は音楽教育を研究し、ボディーパーカッションと声を組合わせたSMS(左記参照)という手法を確立した。現在、ニュージーランドのオークランドに拠点を置き、国際的に共同研究を推進し、世界にボディーパーカッションを広める活動を展開している。

■日時 2016年 1月12日(火)

10:00~17:00(受付09:30~)

■会場 大阪リバーサイドホテル 会議室
大阪市都島区中野町5丁目12番30号
最寄り駅：JR桜ノ宮駅 西口徒歩3分

■主催 NPO法人 日本ダイバーショナルセラピー協会

■後援 ニュージーランド・ダイバーショナルセラピー協会

■定員 80名

■受講料 一般の方／4,000円

日本DT協会会員／3,000円

(お申込、お支払い方法は裏面参照)

<プログラム>(予定)

○ダイバーショナルセラピーにおける五感と身体へのアプローチ

芹澤隆子：日本ダイバーショナルセラピー協会理事長

○ボディーパーカッション・セラピーワークショップ

マルチェロ・ナポリ氏

☆ボディーパーカッションとは？(理論と根拠)

☆認知症や障がいをともなう高齢者のためのボディーパーカッションの活用
その具体的な方法と効果について(実演を含む)

○質疑&フリーディスカッション

ボディーパーカッションの効果を、
あなたも体験してみませんか。

☆からだで音楽を感じる心地よい刺激

☆豊かな感情の表現や自信を引き出す楽しさ

☆グループで実施するから、楽しさが増幅します！

